

# 本書の特徴

- 最初から通して読むことで、Photoshopの体系的な知識・操作が身につきます。
- 知りたいところから部分的に読むこともできます。
- 練習ファイルを使って部分的に学習することもできます。

## 本書の使い方

本文は、1 2 3…の順番に手順が並んでいます。この順番で操作を行ってください。それぞれの手順には、1 2 3…のように、数字が入っています。この数字は、操作画面内にも対応する数字があり、操作を行う場所と、操作内容を示しています。

Chapter 2 写真を補正しよう

Lesson

# 01

練習ファイル 0201a.jpg  
名刺ファイル 0201b.psd

## 写真の明るさを補正しよう

明暗差の激しい景色などは、思ったような明るさで撮影できないことがあります。ここでは、逆光で暗くなってしまった写真を明るくする方法について学びます。

### 1 Photoshopで画像を開く

P.18の方法で、Photoshopを起動します。[ファイル]メニュー→[開く]の順にクリックします①。

### 2 補正する画像を選択する

[開く]ダイアログボックスが表示されます。デスクトップの[Chap02]フォルダーから[0201a.jpg]ファイルをクリックし①、[開く]をクリックします②。

MEMO  
P.14の方法で、あらかじめ[Chap02]フォルダーをデスクトップ上にコピーしておきましょう。

### 3 明るさ・コントラストを選択する

選択した画像が開きました。[色調補正]タブをクリックします③。[色調補正]パネルが開いたら、[明るさ・コントラスト]ををクリックします④。

MEMO  
[色調補正]タブが表示されていない場合は、[ウィンドウ]メニュー→[色調補正]の順にクリックします。

### 4 画像を明るく補正する

[プロパティ]パネルが表示されました。[明るさ]のスライダーをドラッグして、以下のように設定します⑤。

明るさ 70

### 5 補正した画像を確認する

画像が明るく補正されました。P.30の方法で、デスクトップの[Chap02]フォルダーに別名保存します。[名前]は[0201c.psd]とします。保存できたファイルを開きましょう。

MEMO  
ファイルを開く方法は、P.21を参照してください。

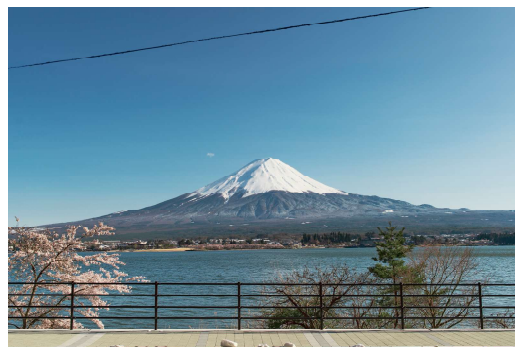
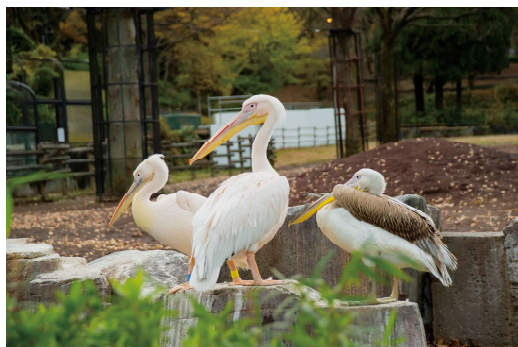
2 写真を補正しよう

## 素材例

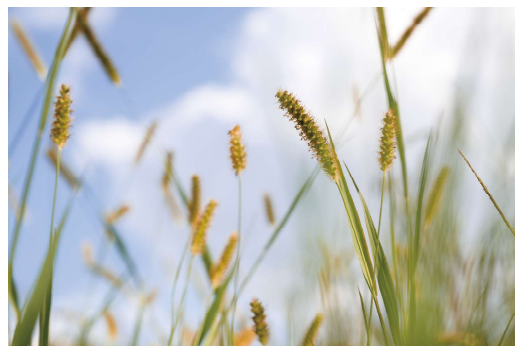
より鮮やかに  
印象的に



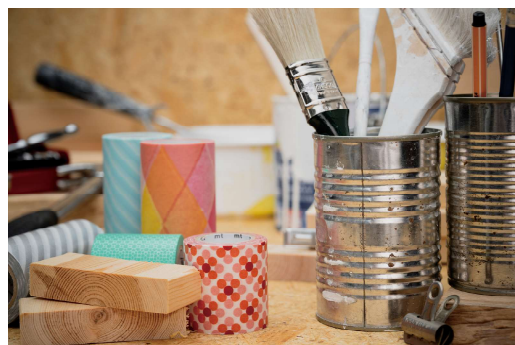
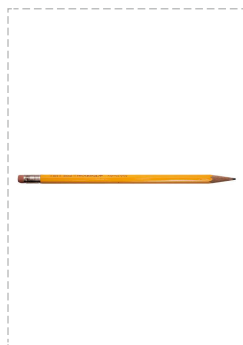
イメージを  
ガラリと変化



細かな補正で  
理想の  
仕上がりに



素材を  
組み合わせ  
自然に合成



文字や図形を  
自在に  
組み合わせる



# 写真を補正しよう

## この章のポイント

POINT

1

写真の明るさを補正しよう

暗い写真の明るさを補正します。

→ P.38



POINT

2

写真の色味を補正しよう

色かぶりした写真の色を補正します。

→ P.40



## Lesson

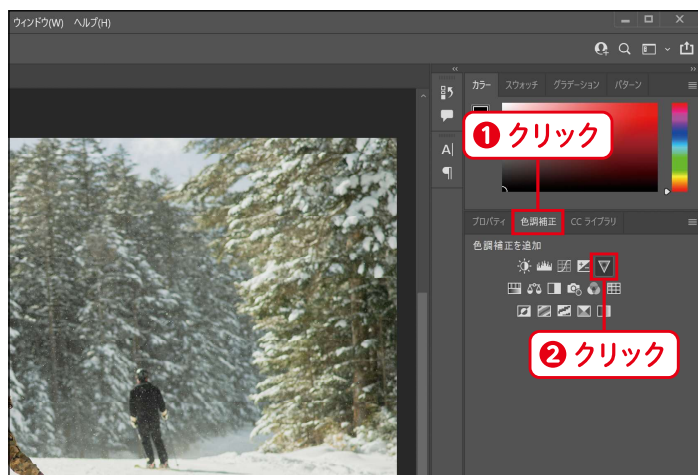
## 03

練習ファイル 0203a.jpg

完成ファイル 0203b.psd

# 写真の彩度を補正しよう

写真の彩度(色の鮮やかさ)を変更することで、華やかな印象や、落ち着いた印象に補正することができます。ここでは、写真を鮮やかな色味に補正する方法について学びます。

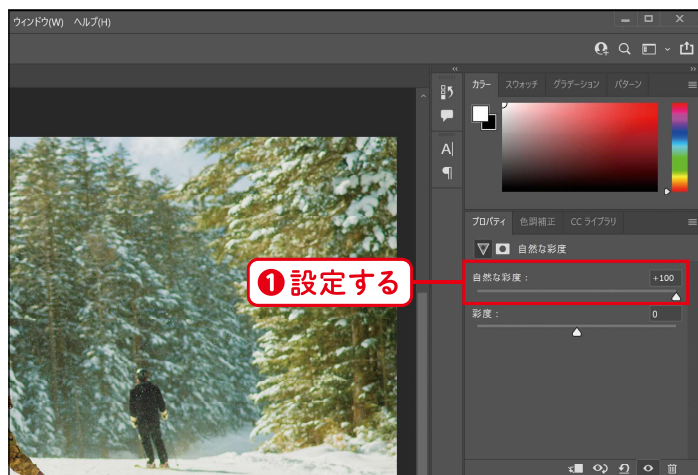


## 1 自然な彩度を選択する

P.20の方法で、[Chap02]フォルダーの[0203a.jpg]ファイルを開きます。[色調補正]タブをクリックします①。[色調補正]パネルが開いたら、[自然な彩度]▼をクリックします②。

### MEMO

P.14の方法で、あらかじめ[Chap02]フォルダーをデスクトップ上にコピーしておきましょう。



## 2 彩度を補正する

[プロパティ]パネルが表示されました。[自然な彩度]を以下のように設定します①。

自然な彩度 +100

## いろいろな色調補正

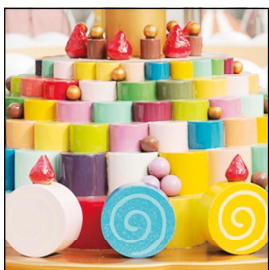
【色調補正】パネルには、画像の色調を補正するためのさまざまな機能があります。色調補正機能を使うことで、明るさ、コントラスト、色相、彩度などを用途に合わせて補正することができます。以下は、色調補正機能の一部をかんたんに説明したものです。自分で撮影した写真などに適用し、いろいろな効果を実際に試してみてください。

元画像



### トーンカーブ

グラフ上にポイントを作成し、色調ごとに細かく補正することができます。



### カラーバランス

全体の色の補正、ハイライト、中間色、シャドウなどの階調ごとの色の補正ができます。



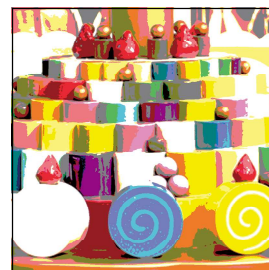
### 階調の反転

色調を反転させることができます。ネガフィルムから正確なポジ情報を作成することはできません。



### ポスタリゼーション

色の数を2～255の間で制限することができます。シンプルなイラストのような表現ができます。



### 2階調化

白と黒の2色にできます。指定した[しきい値]より低い値を黒に、高い値を白にします。



### 特定色の選択

指定した色のプロセスカラーの含有量を変更することで、色を変更できます。



### グラデーションマップ

階調ごとに指定した色に変更できます。階調で色が変わる独特な雰囲気表現できます。



### カラーロックアップ

用意された設定を選択することで、かんたんにさまざまな色調に変更できます。



## Lesson

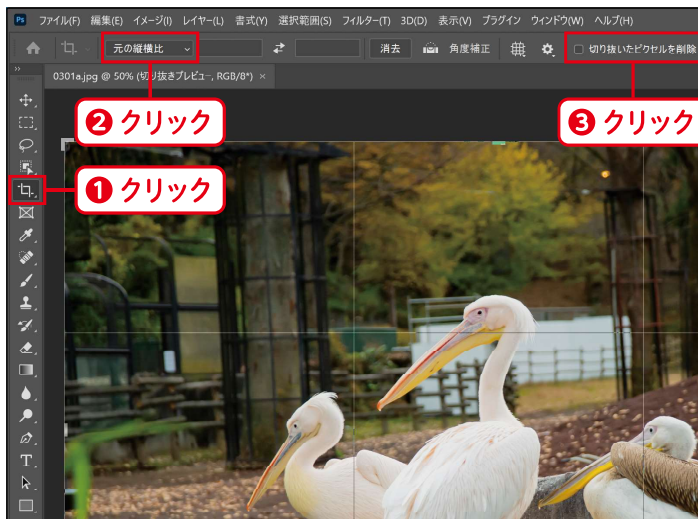
## 01

練習ファイル 0301a.jpg


完成ファイル 0301b.psd

## 写真の一部を切り抜こう

写真の一部を切り取って使うことをトリミングと言います。ここでは写真の中で強調したいペリカンの部分を切り取り、トリミングして大きく見えるようにする方法について学びます。

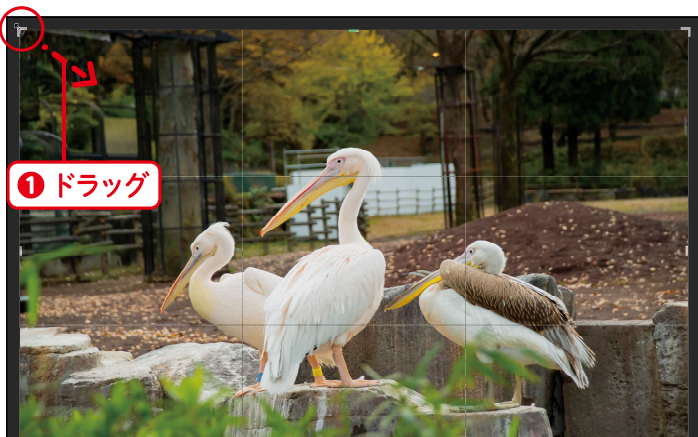


## 1 切り抜きツールを選択する


P.20の方法で、[Chap03]フォルダーの[0301a.jpg]ファイルを開きます。[切り抜き]ツール  をクリックし①、[オプション]バーの[比率]から[元の縦横比]を選択します②。[切り抜いたピクセルを削除]をクリックしてチェックを外します③。

## MEMO

[切り抜いたピクセルを削除]については、P.52のCheck!を参照してください。



## 2 切り抜く範囲を決めるその1

マウスポインターを、表示されたバウンディングボックスの左上に移動します。マウスポインターの形状が  に変わったら、右下に向けてドラッグし①、切り抜く範囲の左と上を指定します。

## Lesson

## 02

練習ファイル 0302a.jpg



完成ファイル 0302b.psd

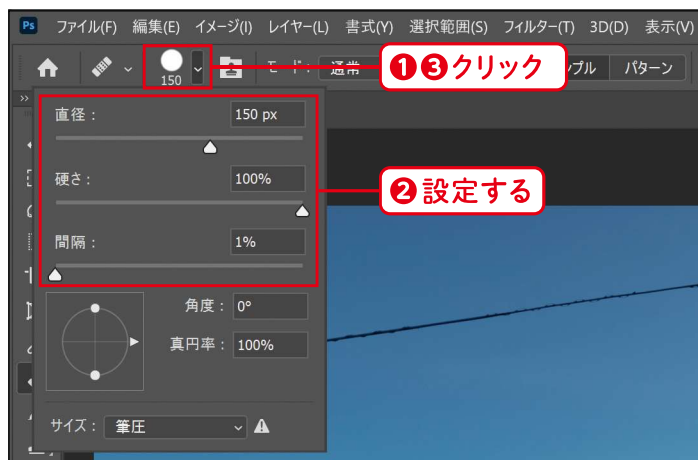
# 写真の余分な要素を削除しよう

撮影時の余分な映り込みや、レンズの汚れなど、写真に不要なものが写ってしまう場合があります。ここでは、修復ブラシツールを使って不要な電線を削除する方法について学びます。





## 1 修復ブラシツールを選択する

P.20の方法で、[Chap03]フォルダーの[0302a.jpg]ファイルを開きます。[スポット修復ブラシ]ツールを長押しし①、非表示ツールの一覧が表示されたら、[修復ブラシ]ツールをクリックします②。



## 2 消したい箇所に合わせてブラシを設定する

[オプション]バーの[ブラシオプションを開く]をクリックします①。ブラシを以下のように設定し②、[ブラシオプションを開く]をクリックして閉じます③。

直径	150px
硬さ	100%
間隔	1%



## Lesson

## 02

色域を指定して  
補正しよう

練習ファイル 0402a.jpg

完成ファイル 0402b.psd

Photoshopでは、画像の中の色を使って選択範囲を作成することができます。ここでは、空と葉っぱを色域指定で選択し、それぞれを補正する方法について学びます。



## 1 画像を開く

P.20の方法で、[Chap04]フォルダーの[0402a.jpg]ファイルを開きます。[選択範囲]メニュー→[色域指定]の順にクリックします①。



## 2 色域指定を設定する

[色域指定]ダイアログボックスが表示されます。左の画面のように、補正したい色の部分をクリックします①。

## Lesson

## 03

練習ファイル 0403a.jpg

完成ファイル 0403b.psd

# 人物の肌をなめらかに補正しよう

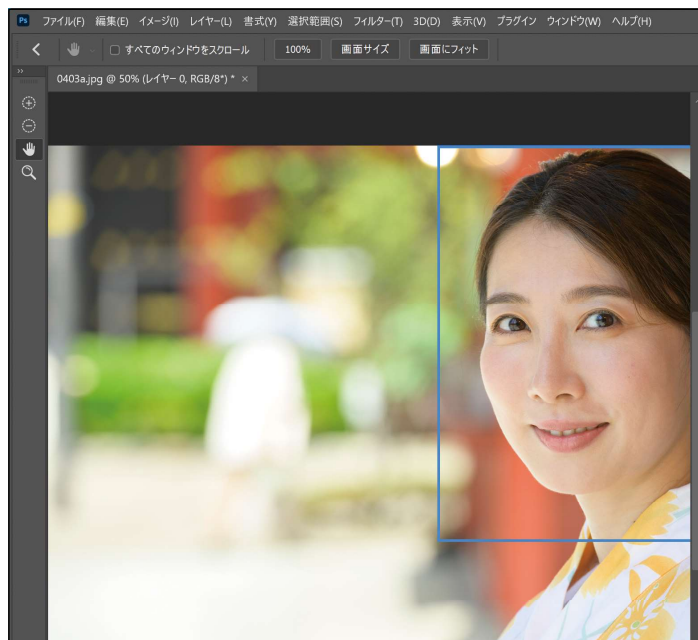
ポートレート撮影では、肌の修正をすることが多々あります。ここでは、ニューラルフィルターとスポット修復ブラシを使って人物の肌を修正する方法について学びます。



1



## ニューラルフィルターを選択する

P.20の方法で、[Chap04]フォルダーの[0403a.jpg]ファイルを開きます。[フィルター]メニュー→[ニューラルフィルター]をクリックします①。



2

## 補正の準備をする

[ニューラルフィルター]の設定画面が開きました。顔が認識されると青い枠が表示されます。フィルターの効果を確認しやすいようにプレビュー画面を拡大表示します。P.26の方法で、[ズーム]ツール  で顔が見やすいように大きさを調整します。[手のひら]ツール  で、画面をドラッグして人物の顔が見やすいように移動します。

## MEMO

ここで顔が認識されていない画像の場合は、人物に関するニューラルフィルターを適用できないため注意が必要です。

## Lesson

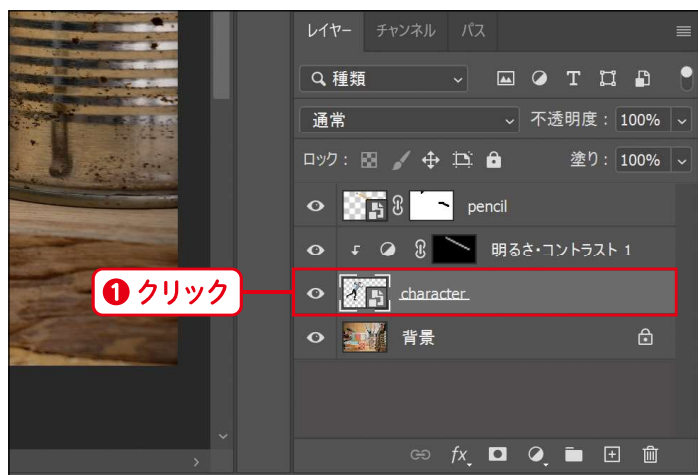
## 05

練習ファイル 0505a.psd

完成ファイル 0505b.psd

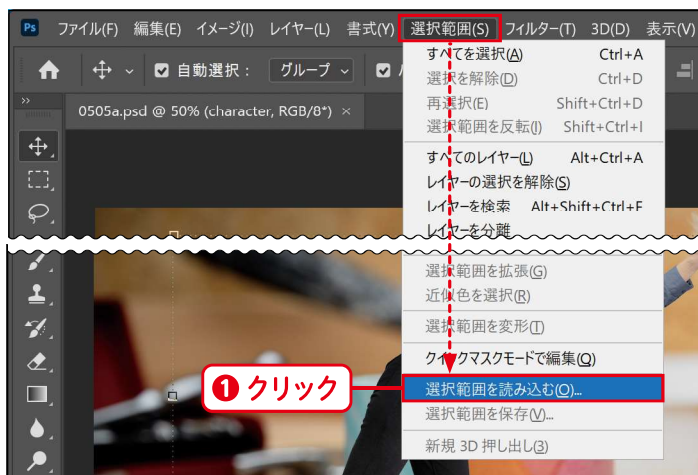
# 人物と背景をなじませよう

えんぴつと人物の画像がなじんだので、今度は人物と背景の画像をなじませます。ここでは、レベル補正とレイヤーマスクを使って影をつける方法について学びます。



## 1 人物レイヤーを選択する

P.100で作成した[composition.psd]を開いておきます。人物のレイヤーから影を作成するので、[レイヤー]パネルで[character]レイヤーをクリックします①。



## 2 人物レイヤーから選択範囲を作成する

[選択範囲]メニュー→[選択範囲を読み込む]の順にクリックします①。

# ポストカードを作ろう

## 完成イメージ

